

国見町CIガイドライン

目次

1.はじめに

- 1-1. 目次
- 1-2. はじめに
- 1-3. ガイドラインについて

2.国見町のCI

- 2-1. CIとは
- 2-2. MIについて
- 2-3. BIについて
- 2-4. VIについて

3.VIロゴベーシックデザインシステム

- 3-1. VIロゴの構成要素
- 3-2. スローガン・ロゴタイプ
- 3-3. 基本表示
- 3-4. 基本表示／スローガン・ロゴタイプ
- 3-5. VIロゴカラー
- 3-6. 保護エリアと最小サイズ／VIロゴ
- 3-7. 保護エリアと最小サイズ／スローガン・ロゴタイプ
- 3-8. 表示色パターン
- 3-9. 表示色と背景色の関係
- 3-10. 表示色と背景写真の関係

- 3-11. 組み合わせ規定／町章
- 3-12. 組み合わせ規定／マスコットキャラクター
- 3-13. 簡易表示規定
- 3-14. 表示禁止例

4.VIの活用方法について

- 4-1. デザインエレメント
- 4-2. デザインエレメント／カラー
- 4-3. デザインエレメント／パターン
- 4-4. シンボルマーク展開表示規定
- 4-5. 名刺
- 4-6. 封筒
- 4-7. のぼり
- 4-8. テーブルクロス
- 4-9. トートバッグ
- 4-10. ステッカー
- 4-11. キーホルダー・カーフレグランス
- 4-12. 広報物への使用例
- 4-13. POP等の販促物への使用例

5.さいごに

- 5. 使用申請について／使用申請フロー／問い合わせ先

国見町では令和4年度から「国見町CI(コーポレート・アイデンティティ)」の策定について検討してきました。

現状では、「第6次国見町総合計画」で示している“基本理念”はあるものの、町の課題を網羅的に捉えたことと、かつ将来像を見据えた長期的なビジョンであるため、町民の具体的な行動に繋がりにくいという課題がありました。

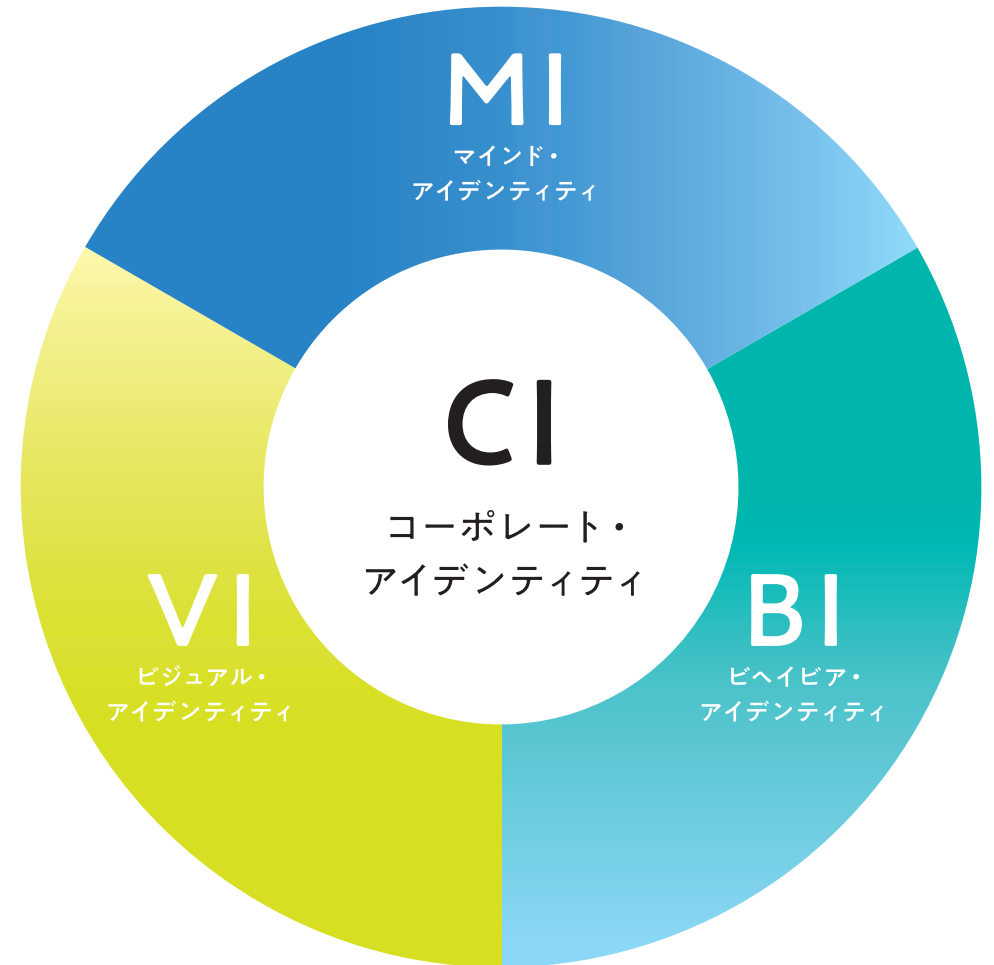
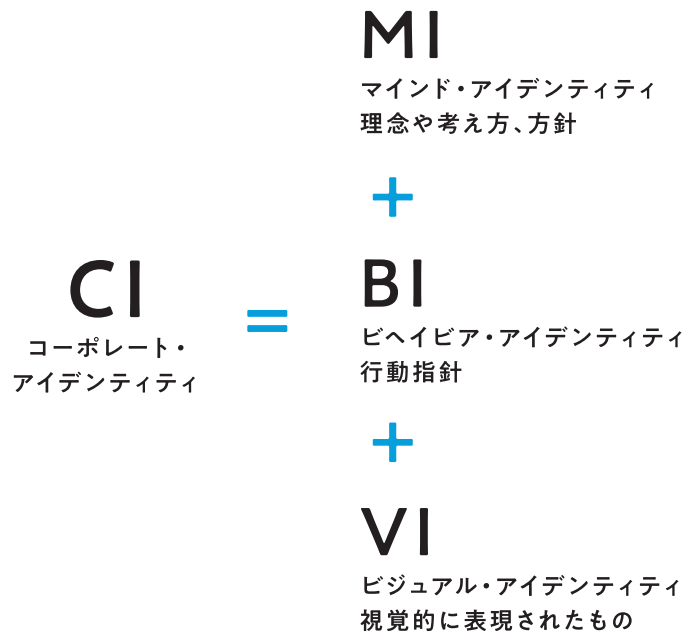
そこで「国見町CI」を策定することで、これから10年先の国見町を創っていくための、町民への具体的な行動指針を示します。また併せて、現在町内で使用されている様々なロゴやキャッチコピー等の統一を図り、「町民が同じ目標に向かって行動していく」環境を作ります。

町民からの意見収集と、全7回の「国見町CI策定検討委員会」の中で議論を重ね、国見町CIについて策定しました。

「国見町CIガイドライン」は、国見町の今後の成長像を構築していくための指針となるものです。このガイドラインは、MI・BIなどで定めた国見町の姿勢をまとめ、VIの使用法の遵守や視覚表現を統一することにより、国見町のイメージが受け手に正しく、一貫性をもって伝わり、記憶されることを目的としています。具体的にはVIの使用基準とビジュアル面での規定を説明しています。国見町が目指すイメージの実現のために、このガイドラインをよく理解し、基本的な指針として活用してください。本ガイドラインの内容および運用方法に関する質問は、下記までご連絡ください。

2.国見町のCI

「国見町CI(コーポレート・アイデンティティ)」とは、MI・BI・VIの3つの視点から成る、国見町のアイデンティティを定めたものです。これを定めることで、町の価値を再認識し、町民の“具体的な行動”に繋げていくための指針になります。



国見町の特産品や地域特性を改めて見てみると、福島盆地や阿武隈川水系などの、肥沃な大地の恵みを活かしたものであることが分かります。

また、主要交通が多く通る場所であることや、歴史上重要な合戦の場になったことも、掘り下げてみれば、福島盆地の最北端にある、その立地が大きく影響しています。そして、そんな土地に、いま多様な価値観を持つ若い世代の流入も見られ、新たな取り組みも生まれています。

国見町が元々持っている地域特性に、新たな価値観が加わることで、衰退の一途を辿るだけではない町を実現できるのではないのでしょうか。

そして、そのような国見町の良さを次世代に受け継いでいくことも持続的なまちを創る上で、とても大切な考え方です。

1

福島盆地と阿武隈川水系の
恵みをずっと大切に。

2

先人たちが育んできた
土壌を次世代へ。

3

この土地に集まる多様な
価値観を受け止めよう。

MI に紐づく形でBI を作成しています。BI は行動指針ですが、今国見町に暮らしている人たちが、何か特別に変わる必要はありません。これから先、何か町の中で新たな取り組みをする時や、新たな政策決定が必要な場面、あるいは就職・転職・結婚・出産など、この町に暮らす人たちの人生の転換期に、立ち返られる指針であれば良いのです。

すでに、農家は農業をすることで、自然の恵みを表現していますし、飲食店の方は地域食材を使った料理を提供することで、同様に表現しています。

これから新しく国見町に暮らす人も、これまで長く暮らしていた人も、子供も大人も高齢者も、同じ目標を目指すみんなの行動が、この町を良い方向に導いてくれます。

1

ここにある自然の恵みを
産業で表現しよう。

2

次世代を担う人々が
学ぶ環境を守ろう。

3

自分らしくいられる居場所を
自分たちの手で創ろう。

VI(ビジュアル・アイデンティティ)について

VI(ビジュアル・アイデンティティ)はMIやBIで立てた「想い」を可視化したものです。視覚(ビジュアル)の統一を図り、みんなが同じイメージを共有できることで、実現に向かう橋渡しとなります。

VIコンセプトは「そだつ・つくる・まじわる」。

MI・BIのコアとなる部分を抽出した言葉です。

このコンセプトをもとに国見町のVIを展開していくことで、今後さまざまなツールへ展開された場合も、ビジュアルの統一を図ることが可能です。

コンセプト

そだつ

つくる

まじわる

3.VIロゴベーシックデザインシステム

VIロゴの構成要素

VIロゴはVIを構成する基本的な要素であり、今後の町の活動におけるコミュニケーションツールの役割を果たしていくものです。このロゴをもとに、VIを展開していきます。

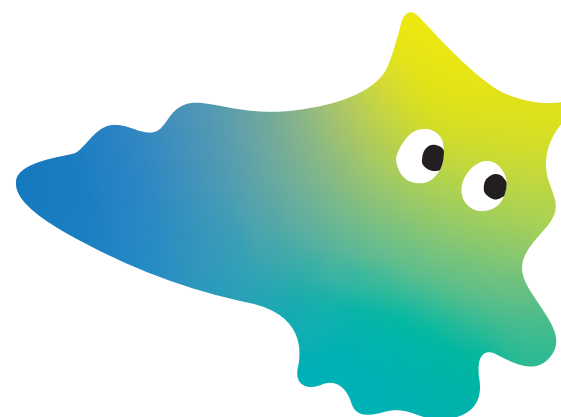
VIロゴコンセプト

国見町は今、町のあり方を一人ひとりが真剣に模索している段階。

一人ひとりが未来の国見町を育てていくためのシンボルとなるマークは「幼虫」をモチーフに「そだつ・つくる・まじわる」を表現しています。

国見町の形から生まれた、柔軟な姿勢を表す形。町の澄んだ柔らかな空気感、未来への希望を含んだうつろいゆく変化のある色味。

これから広がる可能性や多様性を含んだ、国見町の魅力を伝えるためのVIロゴです。



のびのび まだまだ

国見町

..... シンボルマーク

..... スローガン

..... ログタイプ

VIロゴ

スローガン・ロゴタイプです。
シンボルマークにこめた想いを伝えるために
開発されたものです。

スローガン

のびのび まだまだ

ロゴタイプ

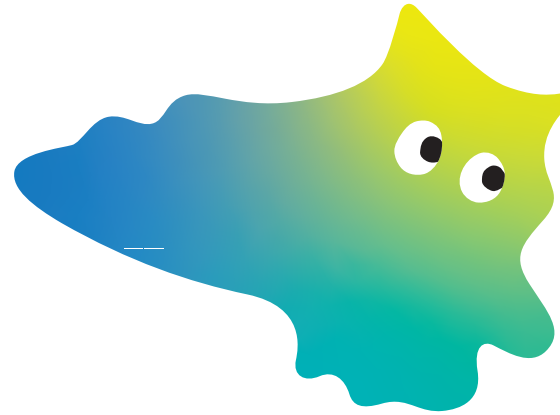
国見町

基本表示

タテ組とヨコ組の2種類があります。
スペースに合わせて使用してください。

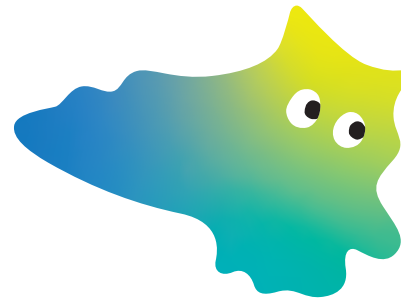
タテ組

3-3



のびのび まだまだ
国見町

ヨコ組



のびのび まだまだ
国見町

基本表示／

スローガン・ロゴタイプ

スローガン・ロゴタイプの組み合わせ表記です。
原則として単独では使用せずシンボルマークと
組み合わせて表示します。次頁以降に示す規定
に沿って、正しく使用してください。

組み合わせ表記

ヨコ書

のびのび まだまだ
国見町

タテ書

国見町
のびのび
まだまだ

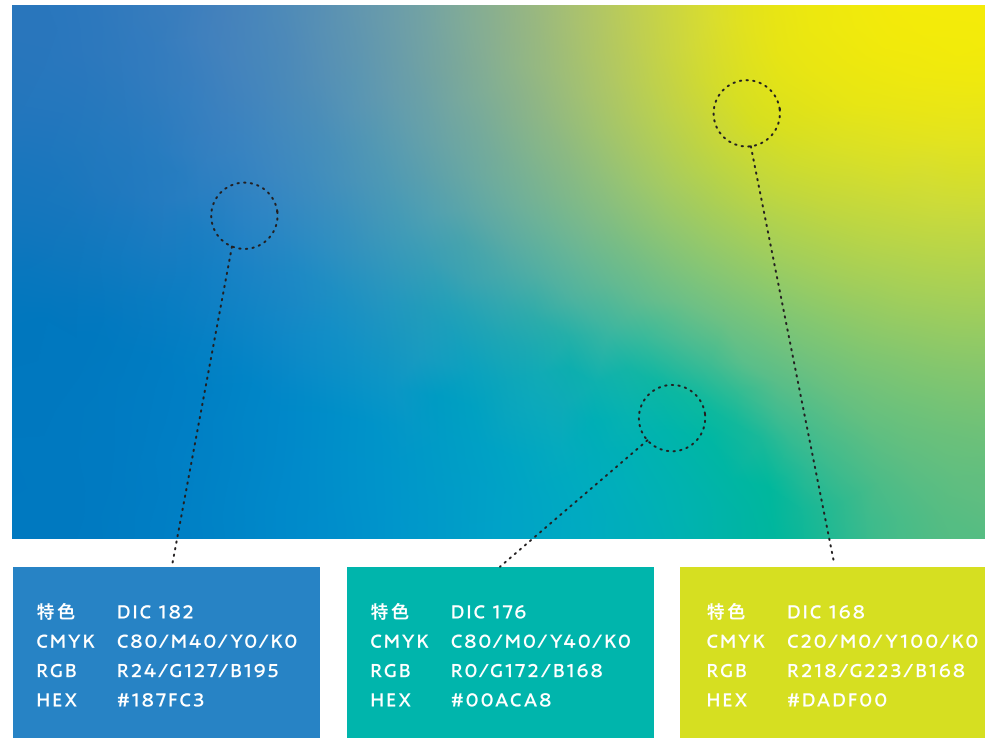
VIロゴカラー

VIロゴカラーです。

色彩要素は、あらゆるコミュニケーションで反復使用されるため、町の姿を可視化する上できわめて重要な役割を果たします。常に正しい色で表示されるよう努めてください。

シンボルマークカラー

3-5



ロゴタイプカラー

特色	DIC 179
CMYK	C80/M20/Y0/K0
RGB	R0/G153/B217
HEX	#0099d9

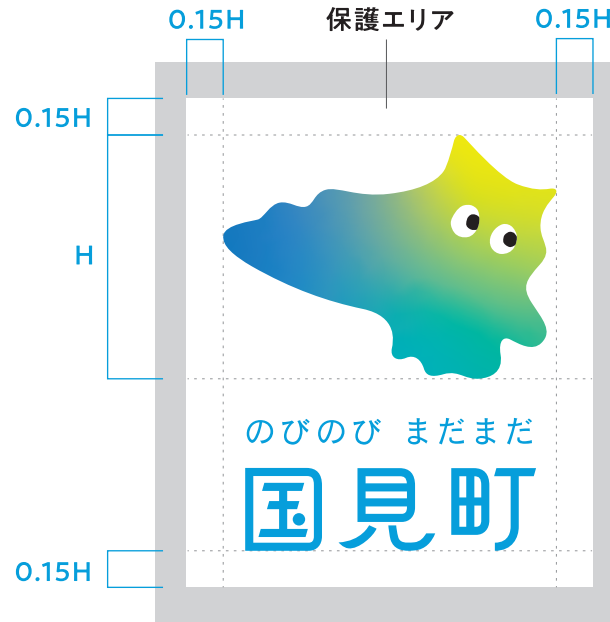
保護エリアと最小サイズ／

VIロゴ

VIロゴは、他の情報と区別され常に独立性を保って明瞭に表示されなければなりません。そのための保護エリアを設けました。保護エリアの中には、他の要素を表示しないでください。

VIロゴが明瞭に再現できる最も小さいサイズとして最小使用サイズの規定を設けました。VIの品質を保持するために、これより小さく表示しないようにしてください。

タテ組



3-6

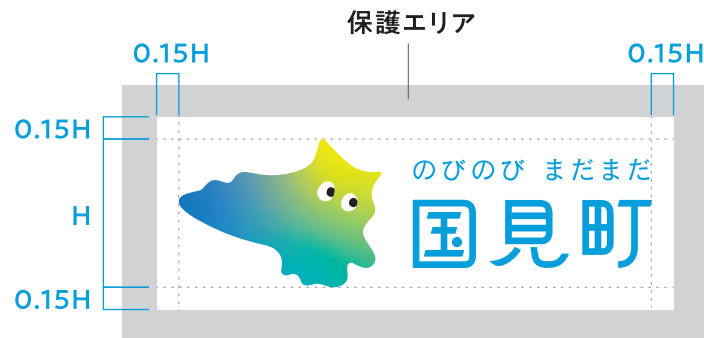
最小使用サイズ

印刷物 / WEB

18mm / 118px



ヨコ組



最小使用サイズ

印刷物 / WEB

33mm / 225px



保護エリアと最小サイズ／ スローガン・ロゴタイプ

VIロゴは、他の情報と区別され常に独立性を保って明瞭に表示されなければなりません。そのため保護エリアを設けました。保護エリアの中には、他の要素を表示しないでください。

VIロゴが明瞭に再現できる最も小さいサイズとして最小使用サイズの規定を設けました。VIの品質を保持するために、これより小さく表示しないようにしてください。

タテ組



3-7

最小使用サイズ

印刷物 / 14mm / 100px

WEB



タテ書



最小使用サイズ

印刷物 /

WEB

12mm / 85px



表示色パターン

VIロゴの表示色です。

背景色によって不明瞭になってしまう場合は、白フチをつけて表示することが可能です。また、フルカラーで表示できない場合はモノクロで使用することが可能です。

4Cの場合

明るい背景



暗い背景



3-8

グラデーションの再現
が難しい展開の場合



下記の色で表示

特色 DIC 172

CMYK C70/M0/Y70/K0

RGB R62/G179/B112

HEX #3eb370

モノクロの場合

明るい背景



グラデーションの再現
が難しい展開の場合

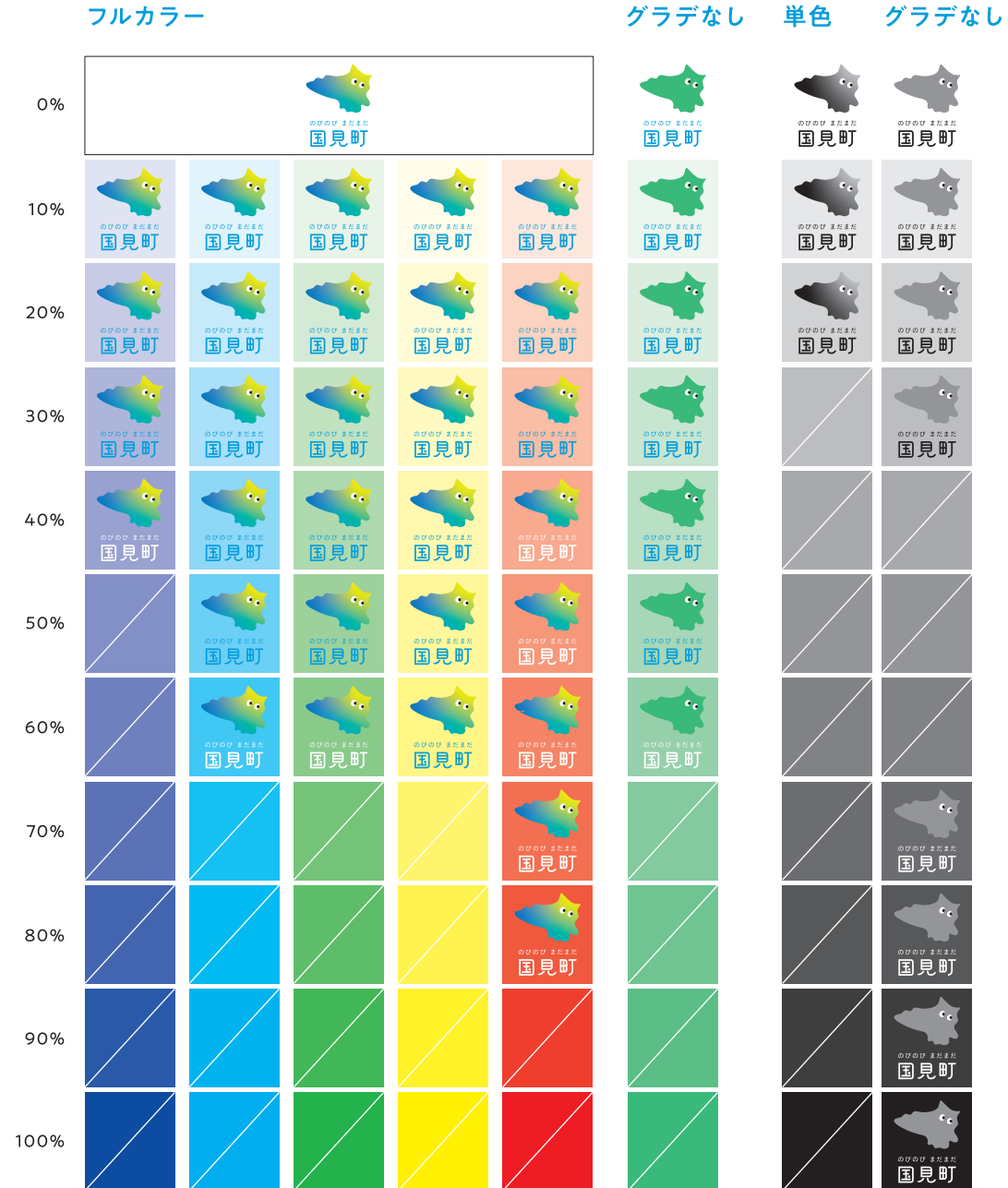


K50%で表示

表示色と背景色の関係

VIロゴは、コントラスト（明暗の差）の得られない表示を避け、常に明瞭に表示されることが求められます。右のチャートを参考にし、できる限り明瞭に表示してください。

表示色と背景色の関係は、紙質やインク濃度の違いなどによって異なりますので、チャートの%は目安としてください。



表示色と背景写真の関係

VIロゴはコントラスト（明暗の差）の得られない表示を避け、常に明瞭に表示されることが求められます。背景写真・イラストとの関係は、紙質やインク濃度の違い等によって異なりますので、ここに示す例を参考にしてください。

明るい背景

カラー



単色



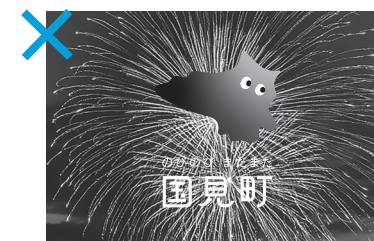
煩雑な背景やコントラストが得られない背景には表示しない

暗い背景

カラー



単色



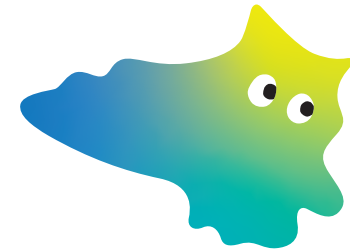
煩雑な背景やコントラストが得られない背景には表示しない

組み合わせ規定／ 町章

VIロゴと町章を併記する場合の組み合わせ
表記です。
保護エリアのページを参照しシンボルマークの
周りに余白を取って組み合わせてください。

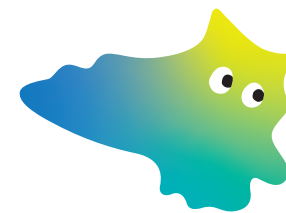
タテ組

3-11



のびのび まだまだ
国見町

ヨコ組



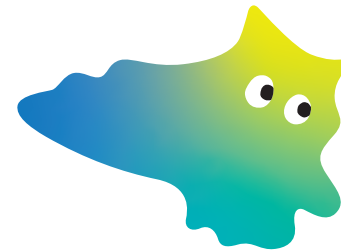
のびのび まだまだ
国見町

組み合わせ規定／
マスコットキャラクター

VIロゴとマスコットキャラクターと併記する
場合の組み合わせ表記です。
保護エリアのページを参照しシンボルマークの
周りに余白を取って組み合わせてください。

タテ組

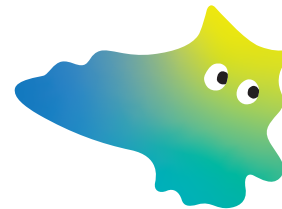
3-12



のびのび まだまだ
国見町



ヨコ組



のびのび まだまだ
国見町

VIロゴを表記するスペースが限られている場合の簡易表示表記です。

原則的にはシンボルマーク・スローガン・ロゴタイプをそれぞれ単独で使用するのではなく、組み合わせて使用してください。

シンボルマーク+スローガン



シンボルマーク+ロゴタイプ



表示禁止例

VIロゴの誤った表示方法を、表示禁止例として右に示します。町内外での使用にかかわらず、町のイメージを毀損するような表示はしないでください。

バランスを変更



回転して表示



アウトラインで表示



変形（長体・平体・斜体）



陰影をつけて表示



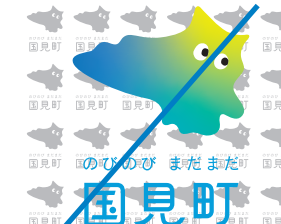
指定色以外で表示

※指定色が使用できない場合は規定に従って表示してください。

囲みなど他の要素を加える



識別を損なう表示



4.VIの活用方法について

VIを活用したイメージを紹介します。
参考としてご覧ください。

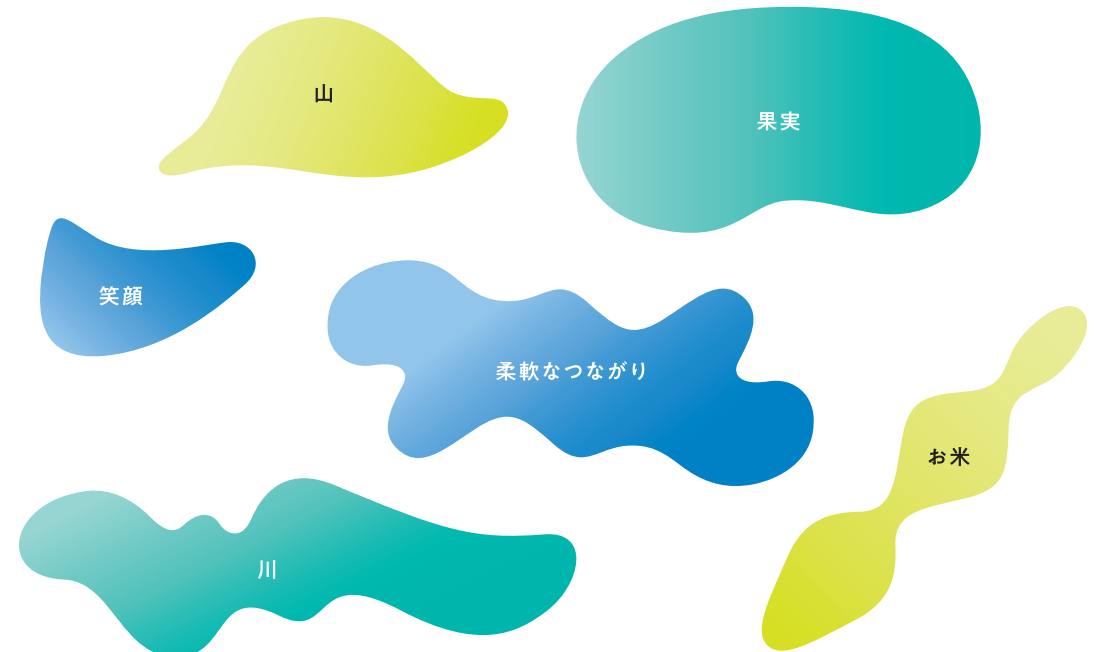
デザインエレメント

4-1

VIを構成するデザインエレメント(要素)は、VIデザインに一貫性を持たせ、国見町独自の表現を作り出すための要素です。VIコンセプトである「そだつ・つくる・まじわる」のもと開発しています。CIを表現する装飾的な役割はもちろん、今後の幅広い展開を可能にする機能的な役割も考慮して設計しています。



姿を自由に変えながら成長していく様子をエレメント化。国見町を構成する要素をベースにしています。



デザインエレメント/ カラー

デザインエレメントは、大きく4種類のカラーがあります。シンボルカラーを基本とした「KUNIMI」カラーをはじめ、国見町を形成する大きな要素「桃」「阿武隈川」「あつかし山」をベースにした色味です。

4-2



KUNIMI

シンボルカラーを基本としたカラー



MOMO

国見町の桃をイメージしたカラー



ABUKUMA

阿武隈川をイメージしたカラー



ATSUKASHI

あつかし山から見下ろした野山をイメージしたカラー



デザインエレメント／ パターン

デザインエレメントを使ってパターンをつくる
ことができます。様々な形を組み合わせてつくる
ことで、国見町の個性がまじわり、町のイメージ
がそだっていけるよう、思いをこめています。
右に示したものは、組み合わせの参考例です。
並べ方で表情が変わるパターンを楽しみながら
名刺をはじめとする、広報物など様々なアプリ
ケーションに使用してください。

パターン例

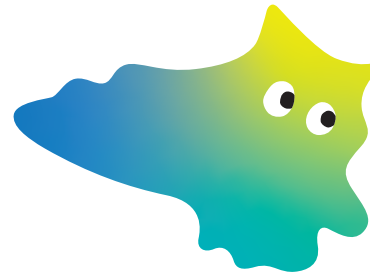
4-3



シンボルマーク展開表示規定

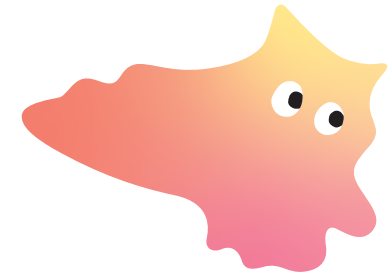
シンボルマークを、コミュニケーションを目的とした用途に用いる場合、エレメントカラーと同じように展開することができます。

4-4



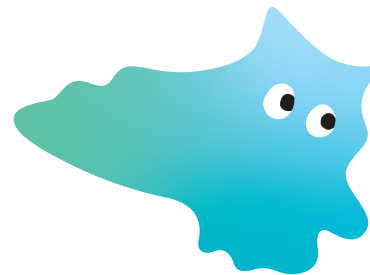
KUNIMI

シンボルカラーを基本としたカラー



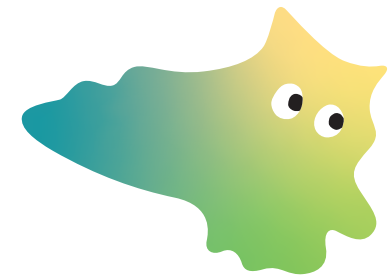
MOMO

国見町の桃をイメージしたカラー



ABUKUMA

阿武隈川をイメージしたカラー



ATSUKASHI

あつかし山から見下ろした野山をイメージしたカラー



規定に基づいてデザインされた、名刺のデザイン例です。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。



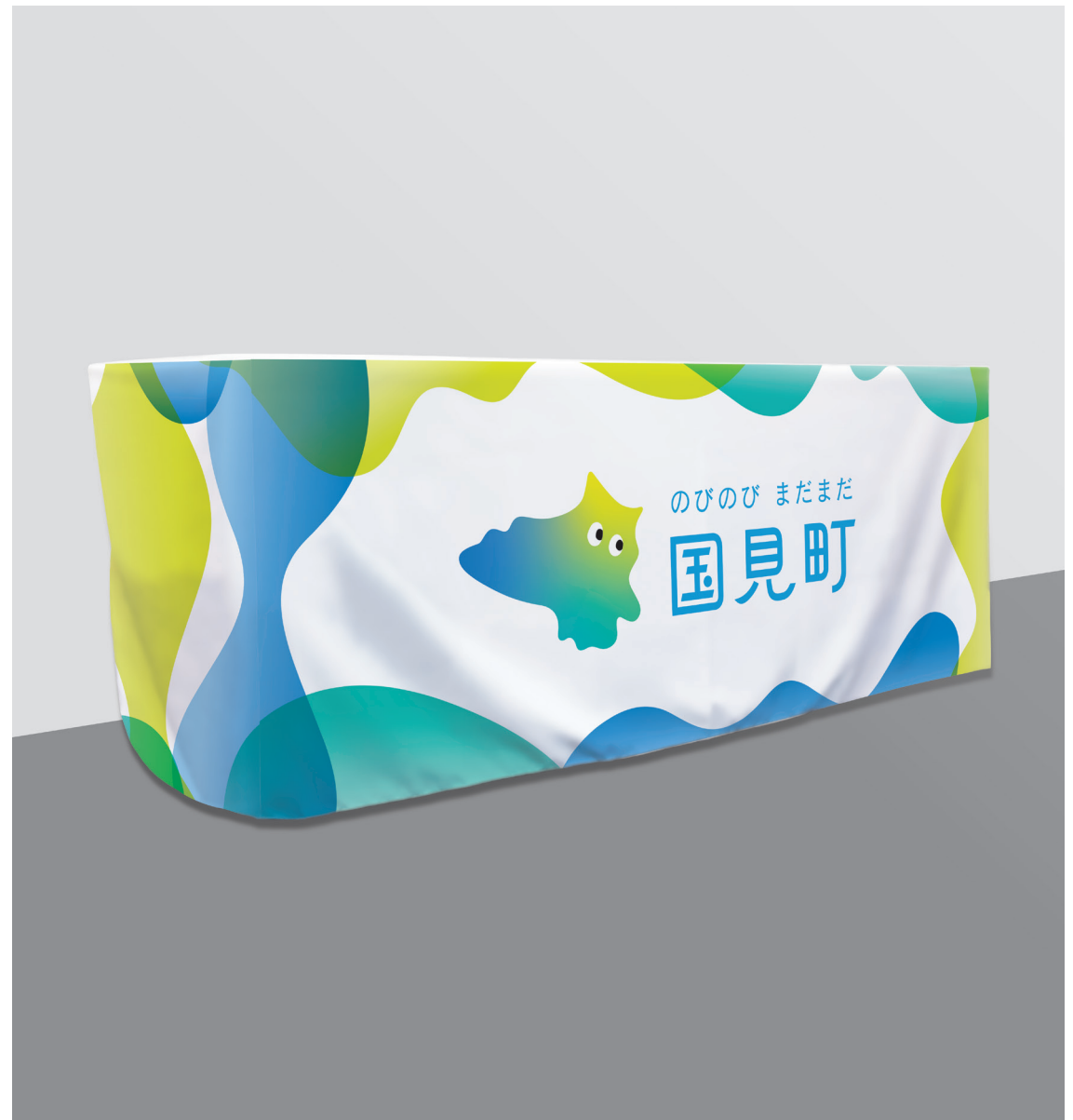
規定に基づいてデザインされた、封筒のデザイン例です。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。



規定に基づいてデザインされた、のぼりのデザイン例です。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。



規定に基づいてデザインされた、テーブルクロスのデザイン例です。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。



トートバッグ

規定に基づいてデザインされた、トートバッグのデザイン例です。ノベルティグッズなどへの展開をイメージしています。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。

4-9



ステッカー

規定に基づいてデザインされた、ステッカーのデザイン例です。ノベルティグッズなどへの展開をイメージしています。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。

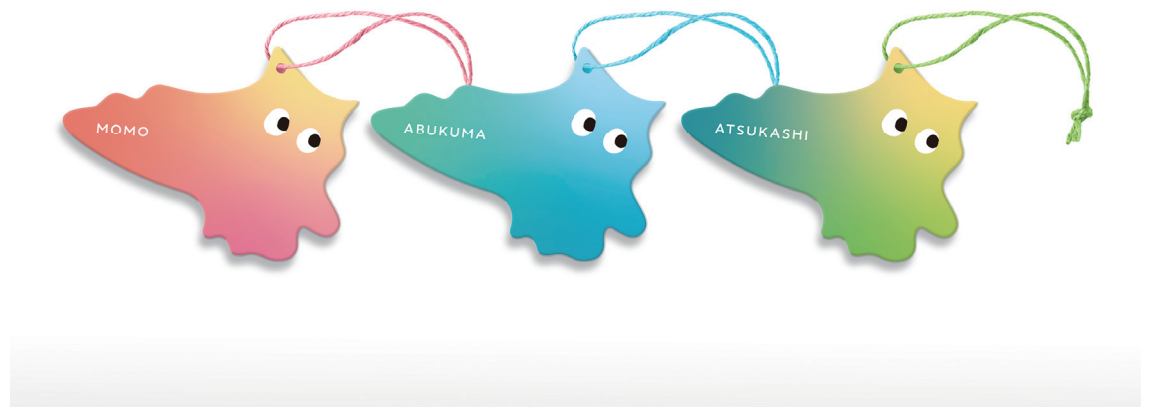
4-10



キーホルダー・カーフレグランス

4-11

規定に基づいてデザインされた、キーホルダー・カーフレグランスのデザイン例です。ノベルティグッズなどへの展開をイメージしています。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。



規定に基づいてデザインされた、広報物のデザイン例です。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。



どんな町に
なるかな。

のびのび まだまだ
国見町

規定に基づいてデザインされた、販促物のデザイン例です。多くの人に国見町のイメージを強く印象づけるために、一貫したコミュニケーションを行います。



さいごに／ 使用申請について

国見町VIロゴを使用しようとする場合は、国見町VIロゴ使用許可申請書(第1号様式)(町のホームページからダウンロード可能)に必要事項を記入し、企画調整課まで直接持参・郵送等によりご提出ください。

審査後、国見町VIロゴ使用許可書(第2号様式)または国見町VIロゴ使用不許可書(第3号様式)により通知します。

※使用期間は1年です。複数年使用を希望する場合は、期間満了後に再度手続きが必要となります。

使用申請フロー

1.使用許可申請書の提出

国見町VIロゴ使用許可申請書(第1号様式)を町のホームページからダウンロード

記入した申請書と添付書類を、国見町企画調整課まで直接持参または郵送で提出

2.審査(約1週間程度)

3.結果通知ご連絡(郵送書類にて通知)

4.完成見本等の提出(完成見本の提出が難しい場合写真でも可)

見本がある場合は直接持参または郵送にて提出(写真を提出する場合はメールにて提出も可)

5.使用(町のホームページよりデータをダウンロード)

問い合わせ先

〒969-1792

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1番7

国見町企画調整課 過疎対策係

TEL:024-585-2927

Mail:kikaku@town.kunimi.fukushima.jp